

知床の窓から見えるもの

いってみませんか？羅臼岳

2014年3月10日

今回は私たちの住む町、世界自然遺産知床にある羅臼岳についてお話しさせていただきます。

羅臼岳は知床連山の最高峰で標高1660m。百名山に登録されているダイナミックながらも美しい山です。両サイドに海という迫力満点の景色と様々な愛らしい高山植物を楽しむことができ、山開き後は道内のみならず全国各地より多くの方が訪れています。

私もそんな羅臼岳に魅せられた一人で、昨年羅臼に住み始めてからたびたび足を運んでいます。

行くたびに違う顔を見せてくれるため何度行っても飽きず、不思議な魅力のある場所だと思っています。

昨年7月の羅臼岳の様子です。

1、今回はウトロ側の岩尾別コースへ。

きれいに整備されていて歩きやすい登山道。

登りはじめて少しするとウトロ側が見えます。

海は霧に覆われて幻想的です。



2、冷たい水が気持ちいい弥三吉水



3、雪溪の残る大沢



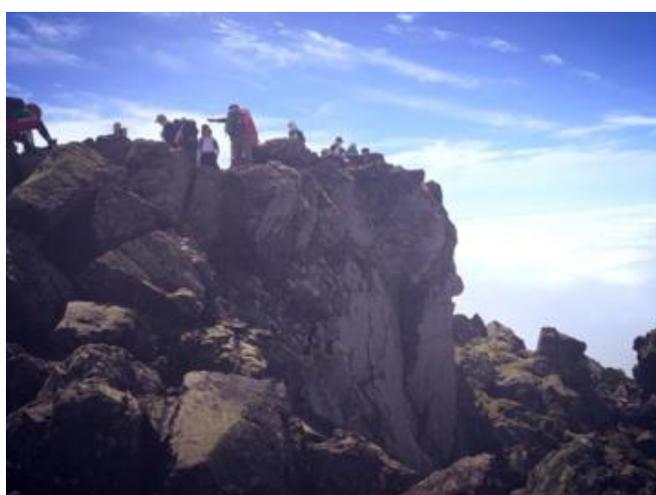
4、羅臼平から見る羅臼岳。



5、様々な高山植物がお目見えします



6、羅臼岳直下の岩清水。冷たくて本当に美味しいです。山頂には多くの登山客がいます。



7、山頂からの景色。左はウトロ側、右は羅臼側の海。一番遠くの硫黄山まで縦走することもできます。



季節にもよりますが、おおよそ8～9時間くらいで下山。登山口には開放的な露天風呂が楽しめる温泉があり、登山の疲れを癒してくれます。

診療所は羅臼側登山口からわずか10分ほどの場所にあり、窓からは真正面に羅臼岳が見えます。

休憩中に眺め、ほっと一息つける恵まれた環境だと思います。

また、登山以外にも雄大な自然を五感で感じられるアクティビティが盛りだくさんな場所なので充実した休日を過ごすことができます。

ぜひ、世界自然遺産“知床羅臼”に一度足を運んでみてはいかがでしょうか。